

月刊

エルダリープレス

～シニアの快適生活を応援する～ シニアライフ版

2017年(平成29年)4月号 第32号

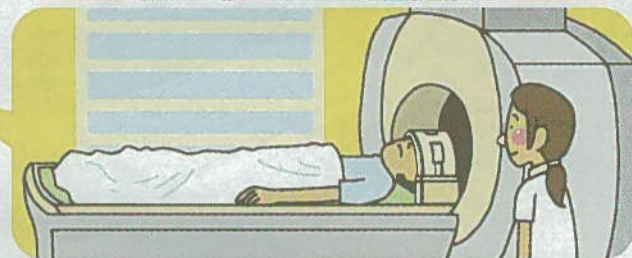
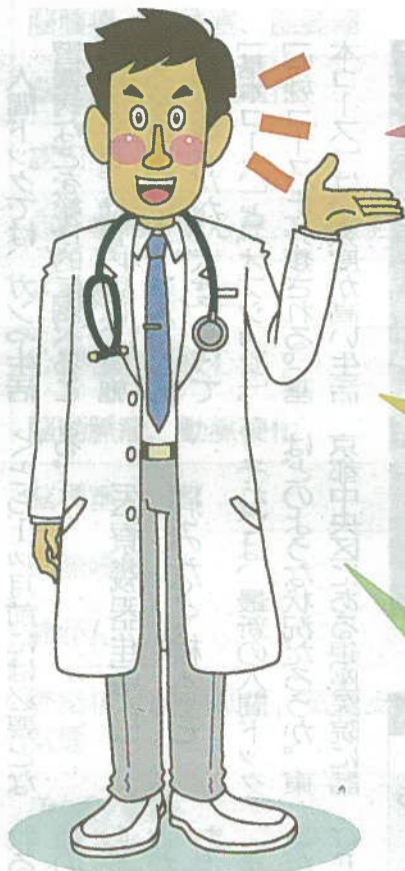
(株)高齢者住宅新聞社 〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15
TEL.03-3543-6852(編集部) 発行人 網谷敏数
http://www.koureisha-jutaku.com

—Elderly Press Newspaper—

ここまで進んだ

最新の 人間ドック事情

病気の予兆を知るためには、どうしたらいいか。そのひとつの回答に「人間ドックの受診」がある。人間ドックの受診者数は年々増加傾向で、病院によっては受診者に商品券やレストランの無料券を配布するなど、病気の早期発見、早期治療に繋げようとする動きが活発になっている。また、医療技術の進歩により、早くて痛くない検査も充実してきている。今回は、最新の人間ドック事情を紹介する。



早く知って、早く予防

年に1度の健診で、健康寿命延伸へ

今月の特集

■ここまで進んだ
最新の人間ドック事情—1～5面

シニアにお勧めの検査項目
東海大学医学部付属病院
医師 西崎泰弘氏インタビュー

■教えて!編集長 —8面

高齢者虐待、なぜ減らない?

■連載企画

知って得する未病講座—10～11面

最終回 神奈川県を取り組み
黒岩祐治知事インタビュー～後編～

■暮らし・趣味 —12面

小学生アイドルがシニアを元気に

■インタビュー

NPO法人ココロのバリアフリー計画
理事長 池田君江さん —20面

車椅子歓迎店、サイトで紹介

「時間短縮・痛くない」を実現

エルダリープレスを発行している高齢者住宅新聞社の編集長(46歳)は2年前、人生で初めて人間ドックを受診した。人間ドックの受診適齢期である40代～50代での受診となった。「体調が悪いからというわけではなく、そろそろ受けておこうかという程度」と、当時の気持ちを振り返る。5万円の人間ドックで内臓機能を中心に調べた結果、コレステロール値、そして飲酒のし過ぎや塩分・脂分の多い食生活時に高くなるγ(GPT)マーカーのGTPの数値が高いことがわかった。

ロカロリーに留めるようになった。医師から処方された薬を飲み続けたところ、γ-GTPの数値も下がった。

「受けて良かった。毎年、健康診断を受診しているが、詳細に各部位を調べられる人間ドックだからこそ、数値の高さを知ることができた」という。

このように病気の予兆を知り、未然に防ぐことができるのも人間ドックの強みと言える。現在の人間ドックは、2時間～半日程度で受診でき、価格も検査機関により異なるものの、大体3万円～5万円程度。医療技術が進んだことで、早くてしかも痛くない検査が実現している。

病院によっては宿泊コースもあり、病院内の設備も充実している。一般的な「白い壁に消毒液のにおいがする病院」ではなく、ホテルさながらの部屋が用

「酒もタバコもやらないから、内臓だけには自信を持っていたのだけど」と編集長。

その後、自宅の近くの病院に肝機能の検査を受けに3ヵ月に1回通院することに。また、管理栄養士の指導のもと食生活を

意されているほか、ホテルと提携している場合もある。更には、「人間ドック旅行」として、検査を宿泊プランに盛り込んでいるリゾートホテルや旅館もある。検査も受けて温泉にもつかれて、一石二鳥というわけだ。このように、医療技術そのものだけでなく、それに付随するサービスも充実し始めている。

→2面につづく



◀人間ドック検査室の一室(銀座医院)

探偵がシニア見守り 買物などを追跡調査

「親の普段の様子わかる」



原一
探偵事務所
山口浩司常務

原一探偵事務所(埼玉県川越市)は、シニアの見守り・行動調査サービスを一歩より行っている。探偵事務所がこうしたサービスを行う意味はどこにあるのか、などといった点について、山口浩司常務に聞いた。

機械ではわからぬ
詳細な状況を把握
——まず、原一探偵事務所につ
いて教えてください。

山口 創業して43年になる、老舗の二社です。関東から九州まで全国に18拠点を構え、約100人の調査員がいます。フランチャイズ方式ではなく、これだけの規模で展開している探偵事務所は少数です。

——なぜ、シニアの見守り・行動調査サービスを行おうと考えたのですか。

山口 これまでも、遠く離れて暮らす高齢の親や兄弟姉妹を心配して「調査をして欲しい」という要望や相談はありました。具体的には「認知症になっていないか」「悪徳商法や詐欺

介護

などに引っ掛かっているか」「車の運転はちゃんとできているか」などです。また、徘徊するシニアの行方を探すこともあります。こうしたニーズはこれから増えることが考えられるため、商品化を考えました。

——シニアの見守りサービスは、既に先行する事業者が大勢います。そうした中で、どのようにして差別化を図りますか。

山口 現在の見守りサービスは一長一短です。例えばセンサーやEメールを使った安否確認では、見守り対象のシニアが「起床した」「部屋にいる」などといったことは把握できても「起床した後、どの様な生活をしているか」といった点までは把握できません。一方、警備会社などは人が駆け付けるサービスを提供していますが、異常発生時などの駆け付けが主ですから、平時の様子はわかりません。当社の場合、「調査のプロが自身の目で平時の様子を調査する」というのが他社との大きな違いになります。

家族すら知らない 日常が明らかに

——実際には、どのような調査を行うのでしょうか。

山口 例えばシニアが外出をする際には、当社の調査員が、気づかれない様に後をついて一部始終を観察します。すると「駅の階段の上り下りが辛そうだ」「横断歩道を青信号の間を渡り切れない」「買い物の際にお金を出すのに手間取っている」などといった細かい様子がわかります。それを見て、調査の依頼主である子供たちが「そろそろ独居は厳しいのではないか」などと判断できます。

特徴としては、調査対象のシニアは「自分が調査されている」ということを知らないで、意識することなく「素の自分」を見せてくれることです。実際にあった例ですが、散歩の途中であるお菓子を必ず買うシニアがいました。依頼主である子供は、それまで自分の親がそのお菓子が好きだということを知りませんでした。

——調査費用などは、

山口 3時間で3万円からです。徒歩の追跡調査であれば、調査員は1人で十分ですが、車や電車での移動となると調査員の移動費用もかかりますし、複数の調査員が必要な場合もありますから、費用は個別に見積もる形になります。調査の頻度は依頼者が自由に設定できます。初めに申し上げた様に、当社は全国18拠点を構えていますので「東京に住む子供が、九州の親の様子を知りたい」などといった場合でも対応可能です。

「第三者評価制度」 利用率は1割以下

厚労省発表

消費者などが介護保険サービス事業所(以下・事業所)を選ぶ際に参考となる情報を開示する「第三者評価制度」を利用している事業所や消費者の割合が10%に満たないことが明らかに

なった。「制度が有効に活用されていない」として、見直しを求める声もあがっている。第三者評価とは、事業所におけるサービスの質、運営内容、経営内容などの良否を、公正・

中立な立場の外部第三者評価機関が評価し、公表するもの。ただし、受審は義務ではないため、2015年度の受審率は、最も高い特別養護老人ホームで6.41%に留まっており、デイサービスでは0.58%、訪問介護では0.29%と極めて低い。また、15年度の全国の受審総件数は4423件だが、そのうち2990件が受審費用の助成を行って

いる東京都の事業所であり、東京都以外では受審件数が極めて少ない実態も明らかになった。さらに公正取引委員会が昨年実施した介護保険サービス利用者に対するアンケートでも「事業所選別に際して第三者評価の結果を参照した」との回答割合は8.8%と低い。この様に、事業所・消費者共に制度を殆ど活用していない。

こうした実態は、2月21日に内閣府が実施した規制改革推進会議の公開ディスカッションで厚生労働省が示した。ディスカッション参加者からは「利用率が10%を切っている制度に何の意味があるのか。廃止すべきでは」「飲食店クチコミ評価サイトなどを運営している民間事業者に委託してもいいのでは」などの意見が上がった。

月刊 エルダリープレスシニアライフ版

高齢者住宅・施設入居者・在宅高齢者にシニアライフをご紹介します

高齢者住宅新聞社ではこのほどシニアの快適生活を応援する新媒体「エルダリープレス シニアライフ版」を創刊しました。有料老人ホームや高齢者住宅にお住まいの高齢者、介護サービス利用者、さらには自立高齢者向けに、金融、相続、趣味、旅行、生活に関連した様々な情報を発信します。

媒体概要

○発行/月刊(毎月15日) ○発行形態/タブロイド判・28P～一部カラー ○読者層/高齢者施設入居者・在宅高齢者、介護サービス利用者、シニア全般、高齢者の家族 ○主要購読層/介護保険施設、有料老人ホーム、グループホーム、高齢者住宅、介護事業者、ケアマネジャー、クリニック、薬局、福祉用具事業者、地方自治体 ○配布エリア/全国

運営会社 (介護事業者) ご購入のメリット

- 入居者(利用者)に対するサービス向上
- 入居者(利用者)向けコミュニティ誌の役割
- 運営会社の信頼向上
- 20ページで情報満載

事業者が一括購入、入居者(利用者)に直接配布

購入(買い取り)料金

1部あたり50円(送料・税込) 申込は50部から50部単位

購入(買い取り)方法

施設運営会社や介護事業者、または高齢者やその家族を顧客とする事業者が一括購入。各運営施設や入居者・利用者に直接配布していただきます。

年間購読について

1部単位で年間購読をご希望の方は、年間購読料600円(50円×12ヵ月分)(送料・税込)

お問い合わせ・お申込は

(株) 高齢者住宅新聞社 TEL.03-3543-6852

お電話でお問い合わせ後、申込書をFAXかメールいたします。 <http://www.koureisha-jutaku.com> info@koureisha-jutaku.com